

平成 20 年度研究行事参加者の声

センターでは、研究行事の際に参加者の方にアンケートを記入していただいている。
ここでは、今年度の研究行事に寄せられたご意見やご感想を紹介する。

第 5 回ワークショップ「紙芝居は楽しいぞ！」

日 時：平成20年 5 月28日（水）

会 場：なにわ・大阪文化遺産学研究センター 文化遺産実習・展示室
関西大学博物館前広場

参加者数：111名 アンケート回答者数：88名

<意見・感想>

- ・自分の世代（子供の時）にもこのようなことをやってほしかったです。
- ・ワクワクした。
- ・紙芝居というものを生で見たことがなかったけれども、初めて見て色々な種類があって面白かったです。
- ・楽しかったです。初めてこういう形の紙芝居を見ました。子供のころに見たかったなあと思います。
- ・紙芝居を見るのは久しぶりだったし、鈴木先生の話もとてもおもしろかったです。小さい頃に戻ったような気持ちになりました。今も紙芝居を続けていらっしゃる先生はすごいと思いました。先生がTVに出たりしていることにも驚きました。
- ・幼稚園の紙芝居しか知らなかったの、大したことはないけど正直思っていました、その考えが今日でひっくりかえされました。
- ・紙芝居を直に見たのは初めてでした！風情があってよかったです。
- ・純粹におもしろかったです。
- ・とても楽しかったです。紙芝居のプロの方のお話を聞く機会はめったにないことなので、とてもいい経験になりました。また、お話を聞いていて、今の子どもたちの環境なども考えさせられ、お金にならないとしてもなんとかしてこういった文化を残していくべきだと思いました。
- ・保育園で見た以来でなつかしかった。
- ・子供の頃によく紙芝居を見ていたことを思い出しました。
- ・短い話の中にも、起承転結があって面白かった。お話のエッセンスがかなり凝縮されているように感じた。しかも、何より、そのお話を活かすも殺すも、話し手の技術と、子供たちのつっこみ次第だったりするのが奥が深いな—と思った。
- ・何とも言えないおもしろさを感じられました！とっても楽しかったです。今日来てよかったです！
- ・本物の紙芝居の「温かさ」を体験できました。家族と話してみようと思います。
- ・地域社会の活性化につながるというのがとても印象的でした。
- ・紙芝居とてもおもしろかったです。いところを連れて見に行きたいと思いました。外国にいった時のコミュニケーションの道具にするのはとてもよいやり方だと思いました。
- ・今まで紙芝居を実際に見た事がなかったので、昔の紙芝居でもすごく新鮮だった。そして、（これはどんな職業にでも普遍的に言える事だけど）見ているよりもむずかしいのだなあと思った。
- ・テレビなどのメディアは受け身であるが、紙芝居はそうではない。まるで普通に話しているようなコミュニケーション、アニメーションであるが、どこかアニメーションでないように思える。今の日本人に足りないものを与えてくれる、そんな感じがした。子どもだけではなく、全ての世代に通じるものがあると思う。
- ・紙芝居を見ることはなかったので、新鮮な感じでした。

- ・ゲームの普及で確かに外で遊ぶ子供は少なくなった気がする。その中で紙芝居の活動は大事だと思った。
- ・もう少し紙芝居の意義のところでお話を聞きたかった。
- ・たいへん興味深かったです。絵本のよみきかせと共通するものと違うものがあったと考えさせられました。
- ・とてもたのしかったです。話にひきこむのがとても上手いなあと。
- ・初めて紙芝居の仕組みとか、読み方の工夫、絵の感じなどを間近で見て、すごく奥深いなあと思いました。
- ・とてもおもしろかったです。小学校の頃に先生にして頂いたのを思い出しました。なつかしかったです。
- ・とてもおもしろかったです。水あめはうまくたべられないんですけど、紙芝居を見ながらならがんばって練れそうです。子どもたちがとても楽しそうで、素晴らしい空間をつくっていらっしやるなあと思いました。
- ・紙芝居は何度か町で見たことがありましたが、今日が一番楽しかったです。ありがとうございます。鈴木先生のお人柄と、子どもと一緒に楽しむという考え方が好きです。
- ・小学生のときに近くの公園で紙芝居を見たことがあるけど、また今日見てみて、子供たちの気を引きつける工夫がいろいろされていたんだなと気づきました。すごく楽しかったです
- ・久々に見て楽しかったし、懐しかったです。紙芝居をやるのも簡単にはいかないって今日わかりました。
- ・住吉公園や万代池など身近な土地で紙芝居をやっていた（いる）ということに驚いた。双方向にコミュニケーションの取れる紙芝居は是非今後も続けてほしいと思います。
- ・紙芝居というものが地域にとってとても重要な日本文化だと知った事が良かったと思いました。
- ・実際にやることと見ることのギャップがあると思った。失われつつある文化なので、できたら後世に残して欲しいものだった。
- ・初めて目の前で紙芝居を見て、何か引き込まれるものを感じました。
- ・非常に子供に戻れた感じがして、これから紙芝居を見ることはないかもしれないので、良かったです。とても楽しかったです。
- ・本物は初めて見たがとても笑って楽しかった。続きが気になるあの構造はよく出来ていると思う。
- ・子供をひきつけるための努力を惜しまないし、紙芝居を愛していると感じた。
- ・人をひきつけるのがうまいと思った。おもしろかった。
- ・紙芝居に見いってしまいました。楽しかったです。
- ・幼かったとき、おばあちゃんの家に行ったとき紙芝居屋さんが来ていたことを思い出して少し懐しかった。当時はただおもしろかったなあと思っていただけだったけど、今日のこの講義で、紙芝居の新たな魅力を知って、とても興味深かった。思っていた以上に深かった。
- ・私が小さい時に出会えていれば良かったなあと思いました。お話の内容もおもしろくて、絵も上手だし、子供だけでなく私もとても楽しかったです。今、紙芝居屋さんの人数が少ないことはとても残念です。この良さを他の人にも知ってもらいたい。
- ・とてもよかったです。紙芝居を見ている子供たちの表情がとてもきらきらしていて楽しそうだったので、私も紙芝居を見て育ちたかっとなあとうらやましくなりました。最後のテレビよりも紙芝居の方が好きだという子供たちの言葉はとても感動的でした！！
- ・とてもおもしろかった。紙芝居はもっと子どもだましだと思っていたけど、子どもから大人まで楽しめるなと思った。ただ話すだけでは子どもは見てくれないなんて結構奥が深い思った。
- ・とても貴重な体験でした。ありがとうございます。
- ・初めて見たけど、結構迫力があると思いました。紙芝居を通して、たくさんの子供達が笑顔になってほしいです。
- ・紙芝居というものを初めて生で見ることができて、とても楽しかった。18歳の今見ることによって、また紙芝居を違った角度から見ることができた。
- ・紙芝居をきちんと見るのは初めてだったので、いい機会で楽しかったです。
- ・街頭で実際に見たことがないのに懐しい思いがしました。私が幼い頃には近所の子ども同士で遊ぶことはめったにありませんでした。紙芝居屋さんが来ればそういうことも増えたのだろうと思います。今でも充分に楽しめたので、当時は夢中になったのだろうと感じました。
- ・非常に興味深かったです。ターザンを「なんか飛ぶ人」とか言ってみんなにうけたのがうれしかったです。

- ・ 保育園の頃によく読み聞かせてもらったのを思い出してなつかしくなりました。色んなコミュニケーションの方法があるんだなと思いました。
- ・ 今回初めて紙芝居を見ましたが、1つ1つの話にストーリー性があり、とてもおもしろかったです。紙芝居というのが子どもに与えるものは大変大きいように感じました。次どこかで紙芝居をやっていた時はぜひ見たいと思いました。おもしろかったです。
- ・ 子供と話をしている人の会話が他のものにはない楽しさを感じさせる。

第7回NOCHSレクチャーシリーズ「なにわの食文化～「天下の台所」からみる日本食～」

日 時：平成20年7月3日（木）

会 場：なにわ・大阪文化遺産学研究センター 文化遺産実習・展示室

参加者数：102名 アンケート回答者数：57名

<意見・感想>

- ・ 大切な食を守るため、食卓をもっと大事にしたいと思います。
- ・ 非常に楽しい半日を過ごさせていただきました。今、なにわの食文化を考えると『旬』ということが忘れられているのではないか。
- ・ 食についてのお二人のお話はとても楽しかったです。山下さんのお話は、私が現在大阪ガスに勤務していますのでガスビルのお話はとても興味がわきました。熊倉先生のお話はスライドを元に平安時代等の公家・武家の食事の状況が良く分かった。茶道をしているので、後半の茶の湯にまつわる懐石のお話がおもしろかった。
- ・ 非常に面白かった。なにわ野菜はどこで販売されているのか（水茄子は漬物で販売されている）。また、生産量が少ないのではないかな？
- ・ とても良かったですよ。食事・料理の移り変わりなど、おこげのお茶などすっかり忘れていました。懐かしいです。昔を思い出し懐かしかったです。ガスビルの竣工が昭和8年なら私が大阪へ来た年です。
- ・ 僕も伝統野菜を使った料理屋をして、地域の文化を高めるお祭りも主宰しながら大阪ブランドを高めていきたいと思っています。本当にためになりました。
- ・ 食の変化、大正から昭和の台所の器具変化など良い勉強になった。日本料理の原点が良く分かった。「一汁三菜」懐かしい言葉。今は昔の言葉、食の大切さを改めて感じた思いです。
- ・ 初めて参加しましたが本日のレクチャーシリーズは大変良かった。単なる講演会だけでなく、フリートークができてよかった。
- ・ 食文化の歴史が良く分かり、良かったです。
- ・ 今回のテーマ「なにわの食文化」にひきつけられて初めて受講させていただきました。食文化の時代を振り返り、脳を鍛えるためにも料理を作っていくことや日本料理(和食)のよさを再発見する機会にもなりました。家庭の料理のあり方について、食育について考える機会になりました。「基本に戻る」「火育」についても大切なことを教えていただきました。
- ・ 食の時代による変化を楽しく懐かしく拝聴しました。
- ・ 山下先生の話、ガスビルと大阪の歴史との関わり、食との関わり等、懐かしく参考になることも多く、語り口もソフトで大変良かった。熊倉先生の話、知らなかった食の歴史をソフトに語っていただいて、よく理解できて面白かった。質疑応答の時間もとても良かった。
- ・ 吹田地区栄養士会さんクラブ7名で参りました。近くでの開催で、色々取り組んでいるのでまた参加させてください。
- ・ 大変興味あるお話でした。料理が人と人とのコミュニケーションになることの必要性があると思います。
- ・ 熊倉先生のお話はとても分かりやすく楽しく勉強になりました。山下先生も懐かしい、時間を過ぎるのも忘れて聞いていました。
- ・ 山下先生のお話は年代的にとっても懐かしく拝聴しました。「火育」という言葉をはじめて聴いて、驚いています。熊倉先生のお話は、「日本の食の伝統」知らないことばかりでとても楽しく聞かせていただきました。

- ・和食の歴史から、今の和食の食卓を見直しました。
- ・山下先生：帽子姿で講演くださったウィットと心意気に感謝。導入部分に親しみがもてました。身近な台所の推移、脳活性化と料理の関係を楽しく学ばせていただきました。ボケ防止に料理を活用します。
熊倉先生：日本料理の歴史・文化の知識を広げることができました。謝謝。一汁三菜の基本を大切に、意識していきたいと思います。茶文化をもてなしに活かす工夫をしたいと思いました！ 関西の強みは薄味にあると思っていますので、PRすべきだと思っています（薄味＝だしの味）。
- ・いろいろな面で大変懐かしかった。最近、食事の支度が嫌になりつつある私にとって今一度考え直す良いときとなった。今、日本が置かれている立場・環境等において本日の話は大変有意義であり考えさせられるところも多々あった。
- ・楽しい話でした。一汁三菜の日本食を孫たちに教えます。
- ・改めて食事の大切さが食の歴史を通じて理解できました。
- ・山下さんの家事の軽減が子供の生活能力をなくしてしまう、まさにそうだなと感じました。熊倉先生の日本料理の流れ、大変勉強になりました。
- ・「モダン大阪の台所」講師の歯切れのよい話しぶり、興味を持って自分の過去のことも思い出し、大阪の発展思想の偉大さ、大阪ガスビルと、町の発展にも得るところ大。脳活性化にも健康のためにも料理を楽しみたい。「日本料理の歴史」講師の話しぶり、よく飲み込めてうれしかった。和食を改めて考えさせられた。日本料理のこれからにも及んだ講演、とても得るところ多く感動した。
- ・熊倉先生の日本の食卓は楽しく聞くことができました。懐石のルールを栄養学から見て考えてみたいと思いました。
- ・子供時代からなじみのある大阪ガスビルディングの話のほか、知らないことも多くご講話いただきありがとうございました。
- ・日本の食が変化していった理由の一端が垣間見えて興味深かった。改めて食育の大切さを思い知らされたような気がします。

第5回文化遺産学フォーラム「水がむすぶ文化遺産 ～最上川と淀川～」

日 時：平成20年10月18日（土）

会 場：関西大学第1学舎1号館 千里ホール

参加者数：81名 アンケート回答者数：47名

<意見・感想>

- ・最上川と淀川とどういう関係があるのと思いました。各々の先生方の話はとても興味深いものでした。淀川に関して話された河内先生は摂津・河内・和泉というくくりでの国、大昔の難波京などというくくりの都での川のあり方、かたや最上川は昔、上方との交易で文化の交流が行われたことがよくわかりました。今もなお景観を大事にしているetc. お話もシンプルでおもしろく聞かせていただきました。山形・最上川のことをもっとうかがいたいと思いました。
- ・昨春、家内と東北地方を旅し、鶴岡、新庄、米沢など地図を片手に市内を歩き回り、それぞれの地で色々出会いがありました。その様な訳で、山形（最上川）と大阪（淀川）のお話を聞いて良かったです。
- ・転勤族で東京から来て吹田住民となり、大阪のことが何でも知りたいのでとても楽しいはなしでした。
- ・美しい川を皆が関心を持たねば。仕事の関係で訪れた酒田／最上川と合わせ、酒田をゆっくりと歩いてみたいものです。
- ・お話された先生方は格調高く有意義なお話でした。今後もこのようなフォーラムを希望いたします。
- ・山形、最上川に親近感が持てました。川を大切にしよう。
- ・大川（旧淀川）の近くに住んでいるので、興味のある話、参考になる話が多かったです。もっと水に親しまれる大川になれば…と思います（少し汚いので、いつかそうじ隊にも参加しようか・・・という気にもなるフォーラムでした）。

- ・川（河）の役割について考えさせられた。
- ・30年前高校の修学旅行で行った美しい最上川を思い出しました。
- ・ちょうど、「淀川」「難波」についてより一層の関心を持っていた処で、興味深く拝聴させて頂きました。近江にも「難波」があり、こちらの方が古いか、と思っていましたが、どうでしょうか。「牛頭天王」ですが、「酒田山王祭」、是非訪ねてみたいと思います。本日の先生方のお話をもとに、なにわ、山形の旅へと夢みております。
- ・大阪と別の地域を結ぶという今回のテーマ、実に興味深く拝聴させて頂きました。特に今回の水運の話は私事ながら、もうすぐ学校で授業を行わなければならない、その際の話題として活用させて頂きます。助かりました。
- ・「文化（大阪・山形）に差は無い。」とする考え（菊地先生）が印象的でした。
- ・水運により、山形と大阪との文化交流があったことを初めて知った。文化の足跡を聞いて、いつの時代も文化の担い手が商人であったのではないかと思う。大阪では商売抜きでは文化のことは考えられないのではないだろうか。
- ・最上川と淀川の知らなかった歴史を学ぶことが出来て良かった。これからは川について考えて行きたい。
- ・最上川と淀川は一見結びつかないが、日本海と瀬戸内海を川の本流と考え、最上川や淀川をその支流と考えれば、支流から本流に出て別の支流を使って原料として物資や都市部の文化や資材が運ばれたと説明できると思う。参考になりました。
- ・水、地域、環境、それらの歴史そしてこれからの生活スタイルに関して考えるきっかけになる話であった。まずは身のまわりの川を見つめたいと思います。
- ・大河を前に家2軒の匂が最上川とわかって菊地先生の話にも好意をもち、一度東北地方へ行ってみたい気がした。農村と密着している姿がすばらしい。淀川の水がまずいのは地域住民の関心の薄いせい、都会の真ん中というハンディのせい。
- ・両河川にまつわる歴史、文化、未来への展望など楽しく、有意義なフォーラムでした。
- ・二地域のつながりが良く分かりました。各地の難についても少し考えていたことと違う見方もあるのが理解できました。今までの旅で見聞きしたことの整理が出来たように思います。
- ・森・川・海を（生態系）として環境を考えることは重要。
- ・日本の各地（この場合、大阪と酒田）が水で結ばれていた時代のことがよくわかった。

地域連携企画第4弾「平野をさぐる」

日 時：平成20年10月26日（日）

会 場：杭全神社瑞宝殿（大阪市平野区）

参加者数：59名 アンケート回答者数：16名

<意見・感想>

- ・前々から参加したい希望、時間と日程が折り合わず、ようやく念願の会に参加させて頂きました。とっても良い企画でした。今後、時間の許す限り参加させて頂きたいです。
- ・留学生の方のスピーチ（見方・話し方）が良かった。司会者の質問形式で展開されたが、まず初めに杭全神社の方の話を聞いて、私達の知らない神社の話が聞きたかった。
- ・たまたまこの企画を先生からお聞きして伺いました。全然知りませんでしたのでもう少し宣伝していただけると有難いです。外国の方々との企画はとてもよかったです。
- ・留学生の方の写真コンテストも面白かったです。
- ・いろいろな国の方々が平野、日本に関心を持ってもらって好きになっていただけたのがうれしかったです。

国際シンポジウム「新発見『豊臣期大坂図屏風』」

日 時：平成20年11月22日（土）

会 場：関西大学東京センター

参加者数：105名 アンケート回答者数：72名

<意見・感想>

- ・屏風が投げかける謎の多さと屏風本体の貴重な価値に驚かされた。更に解明されることを期待しています。女性の衣服の柄など服飾研究家の意見は如何でしょうか。
- ・現在、司馬遼太郎の『城塞』を再読している事と先日国立博物館の「聖徳太子図屏風」を観て来た後、中央区の方の図書館でこちらのチラシを見付けました。豊臣期という事でたいへん貴重な資料の丁寧な説明でしたので楽しく聴く事が出来ました。
- ・素晴らしい作品が再現されて、日本の関西大学で観ることが出来るようになり、国民の一人として嬉しき限りです。
- ・内外の専門研究者の貴重な講演を拝聴でき有意義でした。表面的な図像のみならず、製作年や時代背景も今の研究の粋に触れることができました。
- ・予備知識もなく今日の講演に参加し、海外での研究事情もわかり、期待以上によかった。木と紙の文化といわれる日本のものがどんな形でも残っていたということは喜ばしい。これが、何らかの形で日本に戻れるように祈ります（狩野先生のおっしゃるように）
- ・いつか現物を目にしたいものと思います。
- ・異国に残っていた貴重な文化財の話聞いて大変面白かった。
- ・研究領域の異なる発表者のお話をうかがえて良かった。
- ・最新のビルで、よく整備された資料etc.大変充実した内容でした。
- ・各角度からの見方があり、非常に参考になりました。
- ・英語のときは、資料をつけていただきよかったです。
- ・屏風を初めて実物大でみる事が出来たので感動しました。
- ・とても専門的な内容ながら、明確な指摘がなされていて、とても興味深かったです。
- ・知的好奇心を刺激し、大変勉強になりました。
- ・「発掘」に至るまでの関大のご努力に感謝します。
- ・日本の古き遺産を外国の方に教えて戴き感極まりました。
- ・屏風がオーストリアに渡った背景として鎖国、貿易、美術史と多方面の話が伺えておもしろかった。
- ・豊臣期大坂図屏風が貴重なものだとわかった。できたら豊臣期屏風3点の同場所展示を期待しています。
- ・屏風そのものの存在は勿論のこと、第一線の専門家の方々の“論争”もあり、非常にエキサイティングでした。今後、研究が進んだ段階でもう一度開催して下さい。
- ・徳川の歴史ばかりが語られるので、私は豊臣の中老・速水甲斐守守久を先祖にもつ人間なので非常にこの時代の美術・文化・生活等のシンポジウムは関心が高く、機会があればどんどん参加したいと思いますが。
- ・歴史的見地、美術史的見地ならびに日本の研究者の視点とオーストリアの研究者の視点等々、多様な見方がとても参考になりました。
- ・思いがけず英語での御説明も楽しくうかがえました。文化財保存について日本とオーストリアの先生の考え方の違いもとても参考になりました。
- ・朝日新聞での記事を興味深く読んだので、今回シンポジウムを知って迷わず参加しました。複製でも実物サイズの屏風を見ることができ感謝です。私にこの屏風を見る際のいくつかの視点があればもっと有意義な機会になったのではないかと反省させられます。が、講演やシンポジウムを伺って自なりの疑問も生まれましたので関心を持ち続けていきたいです。
- ・ただ美術的なものだけでなく制作年代の考証も興味深く考えさせられました。
- ・「屏風」が可動の美術品として、当時（17～18世紀）のヨーロッパ貴族は、一般の絵画と同様に鑑賞の対象と

して受け入れやすかったのではないかと、図柄・構図としては、「屏風」の上下と南北が反対になっていることが、興味深かった。

- ・日本史にglobalな観点が得られて興味深かったです。日本史の授業にもそういう視点からの教育を取り込んで頂きたい。
- ・恐らく1600年代前半に製作された屏風がかくも見事に保存されていたことは驚き。またこの頃に既に現在の大阪の街の原形が出来上っていたのも大きな発見。描かれた対象の年代、製作時期、グラーツへの渡航経路等まだまだこれからの調査研究に待たねばならないと思われる
- ・受講させて頂き、嬉しゅうございました。こういう形で残っていた事も驚きでしたが、いろいろな面からのご説明を頂き、一層興味がわいて参りました。ただ拝見するだけではわからない事が多いと思いますので。
- ・世界的流れの中で保存されていた事は大変な驚きでした。
- ・すごい物がヨーロッパにあったのだ。古い物はミステリアスでおもしろい！！

第6回ワークショップ「サロン・ド・西尾家―吹田の文化遺産―」

日 時：平成21年3月14日（土）

会 場：吹田市立内本町コミュニティーセンター・旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）

参加者数：50名 アンケート回答者数：14名

<意見・感想>

- ・近場なのに初めて来ました。
- ・吹田にこのようなものがあったということに驚き、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・屋敷が広いので、現地見学時間が1時間半というのはやや短く感じた。全体としてはとても充実していた。
- ・民家について勉強中なので大変参考になりました。
- ・以前、西尾家を訪問したことがあるのですが、青山先生の解説を聴き、よりこの建物に対する臨場感が高まり、興味が深くなりました。
- ・第一部：青山先生の詳しい資料とお話はとてもよかったです。私自身、田舎の豪商と言われた（今はダメ）家で生活していた時代を懐かしく思い出しながら、そして機会があれば、図面など写して又学びたいと思っています。
- ・第二部：とても詳しく丁寧にご説明いただき感謝です。又おたずねしたい気持ちです。ボランティアさんの働きにも大感謝です。
- ・第一部：古建築の構成等、興味があった。
- ・第二部：ボランティアの方の説明はよく理解できた。